



2月9日 第6回親子森林教室はいかがでしたか？

スノーシューを付けて、雪の道を歩きました。

途中で、スノーシューが脱げたり、後ろに下がれなかったり結構歩きづらいです。

森の中を歩くと、動物の足跡を見ることができました。どの動物の足跡か分かりましたか？



チェーンソーを使った木の伐採を見てもらいました。

私たちは、この時期に整理伐と称して危険な木、生長のよくない木、他の木の生長を阻害する木を伐採しています。

切った木は、キノコのホダ木や薪として利用します。



立木の木を切る体験を行いました。木の伐採は事故が多いので注意が必要です。



第7回教室を案内します。

次回の親子森林教室は最後の親子森林教室を3月9日に行います。

今回で2024年の親子森林教室は終了します。

冬は12時終了予定ですのでお昼ご飯は各自でご判断ください。(昼食時間は特に用意していません)

プログラムは以下の予定です。

- ・イタヤカエデの樹液を採取します。
- ・冬芽を観察します。
- ・事前に採って煮詰めた樹液(メープルシロップ)を味わいます。
- ・終了式を行います。終了証をお渡しします。

感想文の用紙を同封しますので、森しり隊員、保護者の方の提出をお願いします。

なお、発表していただく場合がありますのでよろしくをお願いします。

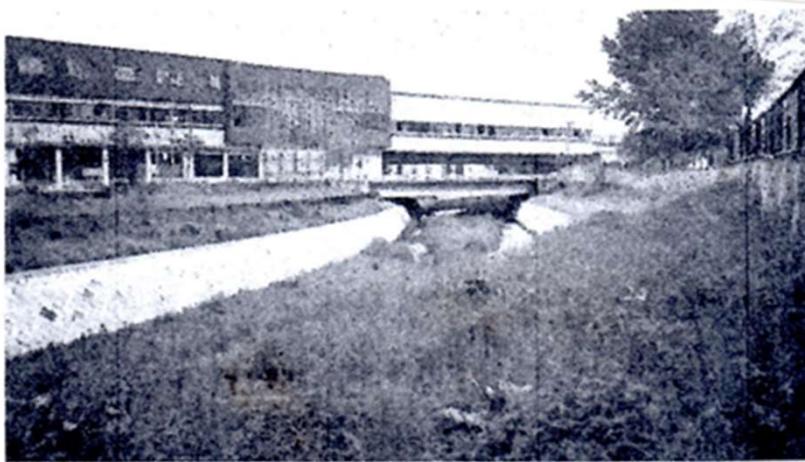
3月9日(日) 9時30分開始です。10分前までにお集まりください。

ソリ滑りコースを予定しています。活動終了後ご希望の方はソリ等をご用意してください。

悪天候等により実施できない場合もありますのでその時はご了承ください。

コラムNo10澄川の森は北海道開拓の原点

皆さんが学んだ澄川の森は明治時代から第二次大戦の後まで沢山の木が切られ北海道開拓に役立ってきました。開拓の時代は家を建てたり食べものを煮たり冬の暖房もすべて木材と炭ですから木を切らなければ生きて行けなかったのです。そのためにこの澄川の森は木が細いのです。森ボラは22年間“巨木の森”を目指して活動していますが皆さんも協力してくれました。大人になって木が太くなったころまた見に来てください。(酒井)



自衛隊前駅及び精進川と慈恵橋。
本願寺道路は、この橋あたりを通過していた。
木挽小屋は、この駅の両側に建っていた。

写真は郷土誌「澄川ものがたり」より

「木挽(こび)き小屋」とは丸太から柱や板を作る工場の事です